



神医 FAXニュース

第506号

編集・発行 神奈川県医師会

毎月第1・第3水曜日発行

TEL.045-241-7000

FAX.045-241-1464

インターネットホームページ
http://www.kanagawa.med.or.jp

新型コロナウイルスワクチン接種における連携型接種施設が実施しなければならない必要な手続き等について(2)

(集合契約の委任状の作成～医療機関情報の入力等)

神奈川県が実施した「連携型接種施設として位置付けられることを同意」された医療機関は、神奈川県より「連携型接種施設として認定します」との通知(メール)が届きます。これを受けて「医療機関等が新型コロナウイルス感染症に係る予防接種に関する集合契約」の委任状を作成し、所属都市医師会へ郵送していただく必要がございます。以下を参考に手続きを実施してください。

2月17日(水)発行の神医FAXニュース第505号に記載のステップ1を経てステップ2の作業になります。

ステップ1 県からの連絡(具体的な作業手順)を確認する。

ステップ2【今回の手続き】

- (1) ワクチン接種契約受付システムに登録する。
- (2) 所属都市医師会へ委任状を郵送にて提出する。

ステップ3 ワクチンの発注 } ステップ3～5につままして
ステップ4 ワクチンの受領 } は、県と調整中です。情報が
ステップ5 ワクチンの接種 } 入り次第ご案内いたします。

1. 以下のURLを開く。

(新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種の契約受付システム)

https://cont-mhlw.force.com/mhlw/vs_ininJyoTouroku
委任状を入力する画面が表示される。

2. 医療機関コードを入力。

2-1 保険医療機関コードあるいは介護保険事業所番号(介護医療院又は介護老人福祉施設)を入力。

※コードは10桁。完全一致しないと検索不可。

※保険医療機関未指定の医療機関は、コード設定が必要なためサービスデスクへご連絡を。

電話050-3174-1505

2-2 表示されたコードから、該当コードを選択。

3. 担当者情報を入力。

担当者の氏名、担当部署、担当連絡先(電話・メール)を入力。

4. 委任先を選択。

委任状提出先に「医師会」を選択。「医師会名」の欄に医師会名の一部を入力

委任状提出先の医師会名称を選択。

5. 取り扱うワクチンを1つ選択。

現時点では「ファイザー」を選択。「連携型」を選択する。

6. 画面右上の個人情報保護方針をクリックし入力内容を確認し、入力画面に戻り「確認」ボタンを押す。

「委任状に記載される内容の確認」画面が表示される。

7. 内容を確認し。「委任状の出力(PDF)」ボタンを押す。
8. 「OK」を押す。委任状がPDF形式でダウンロードされる。
9. ダウンロードされたPDFファイルを開き、内容確認の上印刷する。

印刷した委任状に押印のうえ、委任先の所属都市医師会に郵送する。

当該都市医師会が提出された委任状を受領した場合、受領通知メールが届く。

以上で医療機関等が集合契約の委任状を作成する作業は終了。

10. 後日、V-SYS サービスデスクより医療機関担当者へID/PWが届く。

11. 10をもとに医療機関はログインし、医療機関情報を入力。

※迷惑メール対策やドメイン指定受信等設定している場合は「support@jp-salesforce.com」の登録が必要。

※11までの作業については、各医療機関で準備のこと。なお、ワクチンの入手や搬送方法については、情報が入り次第おって説明。

ワクチン接種受付システムサービスデスク

※ご不明な点等があれば以下まで問い合わせください。

電話番号 050-3174-1505

対応時間 8:30~19:00(土日祝を除く)

本手続き等の詳細につきましては、次のURLを参照ください。

日本医師会 新型コロナウイルス感染症の予防接種について(医療機関、医師会向けページ)内・(医療機関対象)【マニュアル】集合契約の委任状を作成する。

https://www.med.or.jp/dl-med/kansen/novel_corona/vaccination/03_manual.pdf

【参考】

接種までの主なスケジュール(現時点における想定)

3月下旬(予定) 医療従事者等の接種に関する予約サイトの公開。

3月下旬(予定) 医療従事者等の優先接種を順次開始。

「新型コロナウイルスワクチン情報」の掲載について

この度、「新型コロナウイルスワクチン情報」を会員専用ホームページに掲載しました。

【新型コロナウイルスワクチンの副反応について】と題して参考資料を掲載いたしましたので、ご案内申し上げます。

【閲覧方法】

神奈川県医師会ホームページ(<https://kanagawa-med.or.jp/>)のTOPICSにあるバナー「新型コロナウイルスワクチン情報(会員専用)」をクリックしてください。

※会員専用なので、専用ID・PWが必要となります。

最	旬	医	界	
		情		報

コロナの重症者向け退院基準を通知、「15日経過かつ72時間」

—厚労省—

厚生労働省健康局結核感染症課は2月25日付で都道府県などに課長通知(健感発0225第1号)を出し、新型コロナウイルス感染症患者の退院と就業制限の取り扱いを示した通知の一部改正を示した。新型コロナの重症者向けの退院基準を新たに設けた。有症状者で、人工呼吸器かECMO(エクモ)による治療を行った場合、「発症日から15日間経過し、かつ症状軽快後72時間経過した場合」に退院可能とする。

重症者向けの退院基準の設定は、厚労省が18日に開いた「新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード」で議論され、合意を得ていた。「15日経過かつ72時間」か、「発症日から20日間経過以前に症状軽快した場合に、症状軽快後24時間経過した後に核酸増幅法等の検査を行い、陰性が確認され、その検査の検体を採取した24時間以後に再度検体採取を行い、陰性が確認された場合」に退院できる。新たな退院基準は25日から適用される。

厚労省は25日、通知の改正に関するQ&Aも事務連絡した。新たに設けた重症者の退院基準は「人工呼吸器管理かエクモ管理による治療を行った場合」が該当するため、「それ以外で単に集中治療室(ICU)等での治療を行った場合」は新たな退院基準には当たらないことを示した。 メディファクス3/1

2回接種で91%に抗体

—英、ファイザー製ワクチン—

英大学インペリアル・カレッジ・ロンドンの研究チームは2月25日、新型コロナウイルスのファイザー製ワクチンを2回接種した人のうち、約91%に抗体が確認されたと発表した。80歳以上の人に限ると約88%、30歳未満では100%だった。

ウイルスと闘う抗体を持つことで新型コロナの感染を完全に

防げるかどうかは現時点で不明確だが、調査では1回だけの接種より2回目の後の方が抗体保持率が高かった。研究チームは「2回目も打つことが重要だと示された」と話している。

調査は南部イングランドの15万人以上を対象に、指から採血する抗体検査を自宅などで1月26日から2月8日に実施。このうちファイザー製を2回接種した人は約970人だった。一方、1回だけの接種から3週間後の検査では、対象者約3000人のうち、30歳未満では約95%で抗体が確認されたが、80歳以上では約35%にとどまった。

また今回の調査結果から、ワクチン接種者と感染者を含め、イングランド全体で抗体を持つ人の割合は約14%に上るとみられることも明らかになった。【ロンドン共同】

メディファクス3/1

コロナ拡大AI予測下回る

—日本、米グーグルの3割—

日本で新型コロナウイルスの感染が、米グーグルの人工知能(AI)を用いた感染予測を大幅に下回ったことが21日、分かった。今月14日までの4週間の新規陽性者数と死者数はいずれも予測の約3割にとどまった。日本政府は1月7日に新型コロナ特別措置法に基づく緊急事態を宣言しており、一定の効果が表れたとみられる。

グーグルの混雑状況を示すデータによると、1月上旬～2月中旬は新型コロナ前の基準値と比べて、公共交通機関や職場、娯楽関連施設の混雑が減った一方で、住宅は増えた。在宅勤務などで外出を自粛したもようだ。

厚生労働省のデータによると、1月18日～2月14日の新規陽性者数は約8万5000人、死者数は約2450人となり、グーグルが1月19日時点で公表したそれぞれ27万1575人、8210人を大きく下回った。

グーグルは、2月18日～3月17日の4週間は新規陽性者数が5万5736人、死者数は1875人と予測。1日当たりの感染者数は2000人程度で横ばい傾向になると見込んでいる。

グーグルは昨年11月、日本の専門機関に対策の準備で役立ててもらうため、感染予測の提供を始めた。厚労省データや混雑状況を示すデータなどを使用。人々の行動や感染傾向を反映させるため、システムを日々更新している。【ニューヨーク共同】

メディファクス2/24